



2024年 8月14日
第27号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



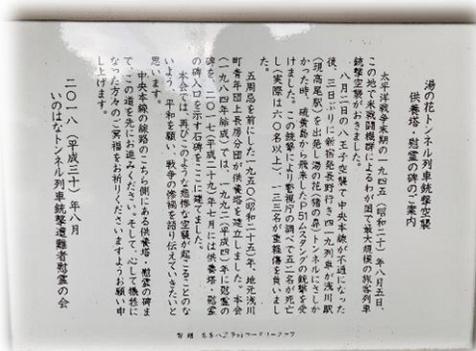
身近なところに鉄道(インフラ)が狙われる戦争の爪痕が残っていた

湯ノ花(いのはな)トンネル列車銃撃事件

1945年8月5日、中央本線の新宿発長野行き419列車が、浅川駅(現高尾駅)を出た午後12時20分ころ、湯ノ花(いのはな)トンネルにさしかかった時、4機の米軍戦闘機P51 ムスタングの銃撃を受け、40名が即死、133名が負傷しました。列車襲撃3日前の8月2日未明。八王子市はアメリカ爆撃機B29による焼夷弾の空襲を受け、約8割が消失し鉄道も甚大な被害が出ました。列車は鉄道が復旧した直後であり疎開する人で、すし詰め状態だったため被害も広がりました。この列車銃撃事件は国内最大規模の被害者が出ました。



現地近くには慰霊碑が
建てられています。



現在も高尾駅2番線ホームに残る銃弾跡

2022年4月、ウクライナ東部にある駅にロシア軍のミサイルが着弾し、50人が死亡しました。インフラである鉄道は今も昔も標的とされます。鉄道で働く私たちは、戦時下では安心して働くこともできません。

安心して、安全に働くためにもJR東労組はいかなるテロにも戦争にも反対していきます!